

## 緊急時の連絡網や手順確認

建コン協  
九州支部  
災害時対応演習実施

（一社）建設コンサル  
タンス協会九州支部（田  
中清支部長）は1日、協  
会本部および全国の各支  
部とともに令和5年度災  
害時対応演習Ⅱ写真Ⅱを  
実施した。北海道日高沖

を震源とする大地震が発  
生したとの想定で演習  
し、緊急時の連絡網や手  
順を確認した。  
同協会の中村哲己会長  
は、「百年前の今日、関  
東大震災が起こった。こ

の12年間を見て  
も、東日本や熊  
本、北海道と地  
震災害が起きて  
いる。日本のど  
こかで必ず大震  
災が起こると想  
定し、その時に  
慌てないように  
するための演習  
だ。緊張感を  
持つて対応した  
いので、よろし  
くお願いする」  
と語った。

演習は、北海道日高沖  
を震源とするM8・2の  
地震が発生し、苫小牧市  
および浦河町で最大震度  
6強を観測するとともに、太平洋沿岸地域で大  
規模な被害が発生したと  
の想定で実施。テレビ会  
議システムやメールを使  
い、本部および各支部で  
連絡を取り合いながら、  
災害対策本部の設置や支  
援要請に係る手順などを  
確認した。  
演習後の反省会で田中



支部長は、「昨年はメー  
ルのやりとりがなかった  
が、今回はきちんとや  
れて良かった。被災状況  
報告のステーションでは、  
写真などがあればイメー  
ジがつかみやすいので、  
テレビ会議でそれが可能  
かの確認も兼ねてでき  
たら良かったかと思う」  
との意見を述べた。ま  
た、九州支部で独自に実  
施した会員会社157社  
に協力要請のメールを送  
る演習では、1時間程度  
で約65%から返答があっ  
た。